円借款

案件概要書

2023 年 2 月 28 日

１．基本情報

(1) 国名：バングラデシュ人民共和国（以下「バングラデシュ」という。）

(2) プロジェクトサイト／対象地域名：チョットグラム管区コックスバザール県（人口約 282 万人（国勢調査、2022 年））

(3) 案件名：南部チョットグラム地域給水計画（Southern Chattogram Region Water Supply Project）

(4) 計画の要約：

本計画は、南部チョットグラム地域において給水施設を整備することにより、産業・生活用水供給の増大を図り、バングラデシュの投資環境改善及び持続可能な水資源管理の実現に寄与することを目的とする。

２．計画の背景と必要性

(1) 本計画を実施する外交的意義

バングラデシュは、インドと ASEAN の交差点に位置することから地政学的重要性が高く、同国の安定的な発展は地域の安定と発展に重要である。同国は極めて親日的であり、我が国は同国の独立以来の友好国として関係を維持・強化してきている。

同国は堅調な経済成長を遂げており、進出する日本企業数も増加している（2014 年 5 月時点：182 社、2018 年 5 月時点：269 社、2021 年 5 月時点：321 社、2021 年 12 月時点：324 社）。その一方で、インフラの未整備や社会開発の後れといった課題を抱えており、本件を通じて南部チョットグラム地域の給水施設を整備することにより、この問題に対処し、同国の社会・経済の発展に貢献することは、本邦企業の活動促進や南西アジア地域全体の安定的な発展にも資するものとして重要である。

また、2014 年の日・バングラデシュ首脳会談において両首脳は経済インフラの開発、投資環境の改善、連結性の向上を柱とする「ベンガル湾産業成長地帯（BIG-B）」構想を推進することで合意している。本計画は、南部チョットグラム地域の給水施設整備を通じ同国の社会・経済の発展に貢献し、同構想の投資環境の改善に寄与するものでもあり、首脳会談のフォローアップとして重要である。

(2) 当該国における給水セクターの開発の現状・課題及び本計画の位置付け

バングラデシュの南部チョットグラム地域では、BIG-B 構想に基づき、同国唯一の深海港となるマタバリ港を中心として産業集積に向けて複合インフラ開発を行う「モヘシュカリ・マタバリ統合的インフラ開発イニシアティブ（Moheshkhali-Matarbari Integrated Development Initiative。以下、「MIDI」という。）」が推進されており、エネルギー基地、経済特区、都市整備等の大型インフラ事業が計画中である。また、特に開発の進むコックスバザール県のチャカリア・モヘシュカリ郡（以下、「同地域」という。）の人口は約 99 万人（2020 年）から約 165 万人（2041 年）に増加予定である。上記に伴う同地域の水需要は 2041 年に約 560,000m^3/日（うち工業用水約 360,000m^3/日、生活用水約 200,000m^3/日）発生すると推定されている（JICA、2022 年）。同地域では過度な地下水依存により地下水位が約 10cm/年で低下しており、かつ新たに開発

可能な帯水層も期待できない（JICA、2022 年）。かかる状況から、同地域の産業開発と人口増への対応として、地下水より水資源開発ポテンシャルのある表流水への水源の転換が必要である。また、表流水は雨季と乾季の流量変動が大きいため、年間を通して安定供給できるよう雨季の豊富な表流水を一旦貯水する施設について、増加する水需要に応じて段階的に整備することが求められている。同国政府は「第 8 次 5 か年計画（2020/21-2024/25 年度）」において、給水施設等の基礎インフラ整備による投資環境向上を目指している。また 2018 年に策定された長期的な利水・治水の国家計画「Bangladesh Delta Plan 2100」では、水需要・供給バランスを確保すると共に、安定的な水供給の実施を重要課題とし、乾季における安定的な水利用を目的とした貯水池整備を優先事業に位置付けている。JICA はバングラデシュ水開発庁（Bangladesh Water Development Board。以下、「BWDB」という。）に対し「包括的河川管理に係る計画策定能力強化及び技術適応サイクル構築プロジェクト」（技術協力、2020～2024 年度）を通じて河川構造物の維持管理能力向上、公衆衛生工学局（Department of Public Health Engineering。以下、「DPHE」という。）に対し「公衆衛生工学局総合能力強化プロジェクトフェーズ 2」（技術協力、2021～2024 年度）を通じて管路給水施設の運営・維持管理能力向上等に係る支援を実施中であり、本計画の持続的な運営・維持管理体制構築のため、相乗効果が見込まれる。

３．計画概要　＊協力準備調査の結果変更されることがあります。

(1)　計画概要

① 計画内容：ア）取水・導水・貯水施設の建設、イ）浄水・送配水施設の建設、ウ）コンサルティング・サービス（詳細設計、入札補助、施工監理、環境社会配慮手続き及びモニタリング補助、能力強化等）

② 期待される開発効果：管路給水による産業・生活用水供給の増大により、同国の投資環境改善及び対象地域住民約 282 万人向け給水事業における持続可能な水資源管理の実現への貢献が期待される。

③ 借入人：バングラデシュ人民共和国政府（The Government of the People’s Republic of Bangladesh）

④ 計画実施機関／実施体制：取水・導水・貯水施設は BWDB、浄水・送配水施設は DPHE が実施を担う。

⑤ 他機関との連携・役割分担：なし。

⑥ 運営／維持管理体制：取水・導水・貯水施設の運営・維持管理は BWDB、浄水・送配水施設の運営・維持管理は DPHE による技術支援の下で地方自治体が担うことが想定される。

(2)　その他特記事項

- 環境社会配慮カテゴリ分類：A（国際協力機構環境社会配慮ガイドラインの別紙 3「1. 影響を及ぼしやすいセクターの例示」にある「貯水池」に該当するため）
- ジェンダー分類：GI（ジェンダー主流化ニーズ調査・分析案件）
- 他の援助機関の対応：アジア開発銀行は、「Chattogram Hill Tracts Inclusive and Resilient Urban Water Supply and Sanitation Project」にて、DPHE のチョットグラム

丘陵地帯での管路給水整備に対し融資検討中。

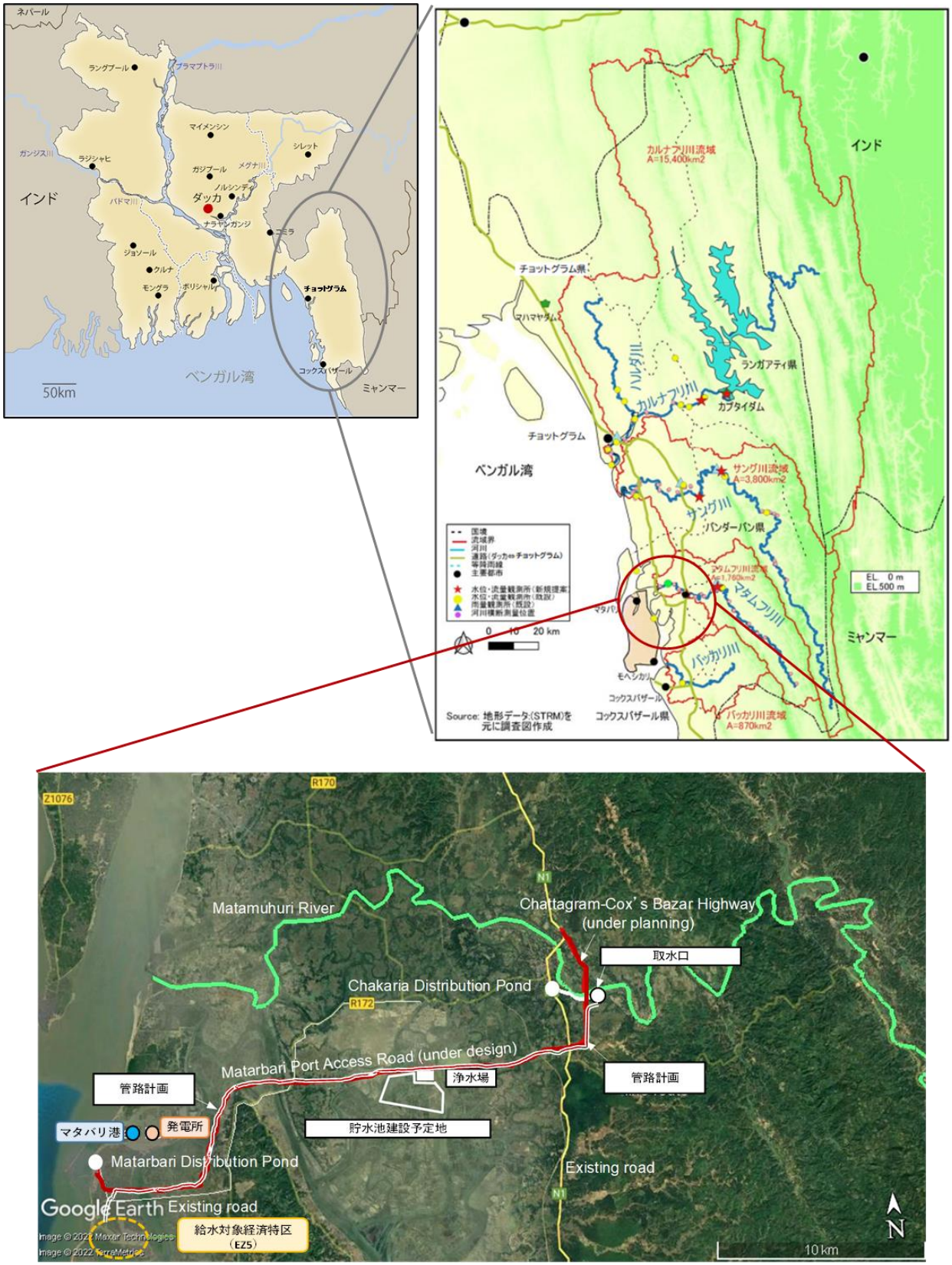
４．過去の類似案件の教訓と本計画への適用

バングラデシュ向け円借款「カルナフリ上水道整備計画」（評価年度：2020 年度）の事後評価等から、実施機関において初となる大規模な表流水を水源とする浄水場の運営・維持管理のために、職員の新規雇用及び能力向上に努める必要があるとの教訓を得ている。本教訓を踏まえ、協力準備調査では、運営・維持管理を担うことが想定されている BWDB 及び DPHE の組織改編や職員増員等組織面での能力強化について十分な分析・検討を行い、持続可能な運営・維持管理体制の構築に努める。

以　上

別添資料　地図「南部チョットグラム地域給水計画」
　　写真「南部チョットグラム地域給水計画」

地図「南部チョットグラム地域給水計画」



（出典：JICA（Google Map、スペースシャトル立体地形データ（Shuttle Radar Topography Mission）等を基に作成））

写真「南部チョットグラム地域給水計画」

取水口候補地

出典：JICA

貯水池及び浄水場候補地

出典：JICA